

ニーズの概要

自動トントン機：母の手

現状の課題

小児病棟では付き添いのない乳幼児のケアを看護師が行っています。3～4時間毎におむつを替え、哺乳し寝かしつけを行います。病態によっては抱っこができなかったり、ミルク量の制限があるためなかなか入眠できない事もあります。その様な場合、看護師はトントンしながら根気強く寝かしつけを行います。ナースコール対応などで手を離すとすぐに覚醒、啼泣してしまうこともあります。啼泣は心負荷増大に繋がるため、寝かしつけ（安静保持）はとても大切なケアの一つですが、ずっとそばにいれない現状があります。

ニーズ

患児が安心して入眠できるよう、お母さんの暖かい柔らかな手のような素材の自動トントン機があれば便利だと思います。患児の心拍数や体動を感知し、トントンのスピードや強弱が自動でコントロールできれば良いと思います。このような機械があれば、どうしてもそばを離れないといけない時に使用することで、患児を覚醒させることなく安静の保持が行えます。